

日本の海岸線を歩く会 行動計画書

報告者：友松知宏

1. 計画の概要

地域分類	山陽道東進—3
計画区間	スタート地点：JR山陽本線光駅
	ゴール地点：JR山陽線宮島口駅
実施期間	平成26年11月 9日（日）～12日（水）
概算歩行距離	94Km

2. メンバー表

No.	役割・分担	氏名	ワケル期	備考（ワケルとの関係等）
1	リーダー&記録	友松知宏	8期	
2		友松和子	—	
3				

3. 歩行計画

	月日	出発地～到着地	歩行距離	歩行参加者	備考
1	米子発組 11月9日	JR米子5:36～JR光駅9:43 JR光駅9:50～室積12:23	7.6Km		室積バス停で合流
	東京発組 11月9日	JR東京6:30～JR光11:28 光駅前11:58～室積12:23		□	広島、徳山乗換 (防長バス)室積バス停で合流
	合同	室積12:30～柳井(泊)	19.5Km		柳井街並み観光
2	11月10日	柳井～上関 上関16:05～祝島:40泊	18.5Km		上盛山(315m)登山 祝島～柳井連絡船 島観
3	11月11日	祝島6:35～柳井7:45		} 2組で分け	祝島～柳井連絡船 岩国、錦帯橋観光
		柳井～由宇 由宇～岩国	15.1Km 16.9Km		
4	11月12日	岩国～宮島口(解散)	19.7Km		
		合計	94.3Km		

4. 歩行ルート概要（地図や概念図、歩行のポイント等）

山陽道東進2に引き続きJR光駅～JR宮島口間、94.3Kmを歩く

当初計画では、広島駅まで歩く予定であったが、8月の土砂災害からまだ復興していない現状に鑑み広島県に入ったところで打ち止めとし、代わりに祝島をコースに入れた。

柳井より室津半島の東海岸を南下。上関大橋を渡り、標高305mの上盛山に登る。上盛山の頂上からは本州、四国、九州が360度のパノラマで一望することができ、山陽道海岸線歩行では、たいへん重要な場所である。その後、船で祝島にわたり、宿泊。祝島は神話時代からの歴史と、石を積んだ塀（練塀）やだんだん畑など、独特の景観を楽しむことができる。

5. 観光

◆ 柳井市

柳井川の北側、古市金屋地区に残る町割り、室町時代からのもので、約200mにわたり、街路に面して白壁と格子窓の家並みが続いている。

藩政時代には岩国藩のお納戸として栄え、産物を積んだ大八車が往来してにぎわった町筋で、間口が

狭く、奥行き長い建物は「うなぎの寝床」と呼ばれる江戸時代の商家の造りである。国の重要伝統的建造物群保存地区に選定され、夏の金魚ちょうちん祭りの前後には、金魚提灯が軒に吊るされ、幻想的な雰囲気をかもし出します。

／

珍しい町の風景だ。近年、こういう古めかしい場所がだんだん少なくなっている。世に有名なのは伊豆の下田と備中の倉敷だが、ここにもそれに負けないような土蔵造りの家が並んでいる。歩いている人間も静かなものだし、店の暗い奥にすわっている商人の姿も、まるで明治時代からその慣習を受け継いでいるような格好であった。

松本清張「花実のない森」より

◆ 上盛山（標高315m）

標高は315mで長島の最高峰。昔は神山と呼ばれていた。

山頂の展望台から360度のパノラマが楽しめ、本州の中国山地、四国佐田岬、九州国東半島を望むことができる。また、眼下に浮かぶ島々は万葉の雰囲気を漂わせている。

◆ 祝島の練塀

島を訪れた人がまず目にするのは「石積みの練塀」である。島内ではいたる所にあるが、他の地域ではほとんど見る事ができない。（未来に残したい漁業漁村の歴史文化財産百選に）選ばれている。練塀は、練った土と石を交互に積み上げていき、表面を漆喰で固めて造ります。塀の厚さは約50センチあり、強風にも耐えられるようにどっしりとしている。その名の通り、塀になっているものもあれば、家屋の外壁を兼ねているものもある。上部には必ず瓦屋根が付けられており、塀の内部に雨水が入り込まないようにしている。

◆ 岩国錦帯橋

⇒

錦帯橋は山口県最大の河川、錦川（川幅200m）に架かっている5連の木造橋で、1673年同年、第三代岩国藩主吉川広嘉によって創建された。創建翌年の梅雨の洪水によりあえなく流失したが、原因を徹底的に究明10月末に二代目錦帯橋が完成した。

それから276年間不落を誇ったが昭和25年9月のキジア台風によって2度目の流失。

橋脚に近代工法を、取り入れ再建工事に着手、三代目錦帯橋は昭和28年に完成。以来、半世紀にわたって人々を渡し続けたが、腐朽による傷みが見られるようになり、平成13年度から平成15年度にかけて50年ぶりの「平成の架替」に取り組み、総事業費約26億をかけて平成16年3月20日に完成した。

◆ 厳島神社

当社は平家からの信仰で有名で、平清盛により現在の海上に立つ大規模な社殿が整えられた。社殿は現在、拝殿・回廊など6棟が国宝に、14棟が重要文化財に指定されている。そのほか、平家の納めた平家納経を始めとした本殿・国宝・重要文化財の工芸品を多数納めている。

当社の平舞台（国宝：附指定）は日本三舞台の1つに数えられるほか、海上に立つ高さ16mの大鳥居（重要文化財）は日本三大鳥居の1つである。

6. 地図 別紙-1、-2、-3

7. メンバー住所・緊急連絡先ほか

1	氏名	友松 知宏	携帯：電話／メール	090-7774-8559
	ローマ字表記	Tomomatsu Tomohiri	自宅メールアドレス	tomomatu.t@palette..plala.or.jp
	住所	〒683-0004 米子市上福原1344-28		
	緊急連絡先（氏名・続柄・TEL）	0859-32-0636		
2	氏名		携帯	
	ローマ字表記		メールアドレス	
	住所			
	緊急連絡先（氏名・続柄・TEL）			

8. 予算（概算）

交通費	JR東京ー光	19,550	
	JR宮島口ー東京	18,040	
	バス（光ー室積）	430	
	連絡船／上関港ー祝島	900	
	〃　　／祝島ー柳井港	1,530	
宿泊費	JR／柳井ー由宇	240	（由宇ー岩国　　320）
	民宿（祝島）	7,000	（一泊二食）
	ビジネスホテル2泊（柳井、岩国）	10,000	
食事代		10,000	
合計		67,690	

9. 申し込み期限・先

9月30日（火）　　友松知宏（8期）まで

10. その他

- 1) 東京からの参加は、当日朝の新幹線では出発時間に間にあいませんので、前泊が必要です。今回は初日、友松が先行し、光駅前からバスで追いかけてもらい、7.6Kmさきの室積で合流する。
- 2) 3日目の柳井～岩国は32Kmで、歩行は可能ですが、岩国（錦帯橋他）の観光ができなくなるので、中間駅「由宇」を区切りに、2組にわかれて歩行する。

以上



山陽道東進Ⅲ / JR 光駅 ~ JR 宮島駅 (94.3Km) ..

全行程図

